

令和8年度 第1回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和8年6月30日（火）10時～

場所：加西市役所 1階多目的ホール

開 会

1 ご挨拶

2 委員の紹介

3 会長及び副会長の選出

4 議 事

(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方 …【資料1】

(2) 実施計画（令和7年度実績）における評価・検証について …【資料2】

(3) 内部評価の概要 …【資料3】

5 報 告

(1) 加西市地域創生戦略の取組状況について …【資料4】

【資料5】

6 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和8年度 第2回加西市総合政策審議会

日時：令和8年7月27日（月）10:00～

場所：加西市民会館コミセン 3F 小ホール

令和８年度 第１回加西市総合政策審議会 出席者名簿

■審議会委員

氏 名	団 体 名	役 職	備 考
荒木 努	加西空き家相談室	代表	
荒瀬 未知也	加西市連合PTA	会長	(新)
梅野 玲子	NPO法人加西市国際交流協会	事業コーディネーター	(新)
王子 英俊	加西市区長会	下里地区代表区長	(新)
小川 仁郎	加西市シニアクラブ連合会	会長	
川嶋 瑠美	北条ならの実こども園PTA	会長	(新)
高橋 伸弥	加西商工会議所青年部	会長	(新)
田中 脩平	北条金融協会	会長	(新)
谷勝 公代	加西市くらしと生活を守る会	会長	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
樋口 真史	加西市労働者福祉協議会	事務局長	
蓬萊 眞子	加西市農村女性組織連絡協議会	会員	(新)
和田 真理子	兵庫県立大学 国際商経学部	准教授	

(計14名 敬称略 五十音順)

■事務局

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
高見 昭紀	政策部長
小山 健一	政策部政策課長
谷口 成俊	政策部政策課 政策係長
大道 行雄	政策部政策課 地域創生係長
香川 理宇	政策部政策課 主任
三宅 里彩	政策部政策課 主事

加西市総合政策審議会の概要

1 趣旨

加西市総合計画や加西市地域創生戦略等、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する重要な事項について、調査及び審議することにより、市民の意見を反映し、効果的な市政運営を図るため、「加西市総合政策審議会」を設置します。

2 体制と役割

- (1) **審議会の役割** 市長の求めに応じ、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する次の事項について、調査及び審議します。

- ① 総合計画の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
- ② 地域創生戦略の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
- ③ その他市長が必要と認める事項

- (2) **審議会の体制**

○審議会

委員構成：地域の産学官金労士老若女などの有識者

事務局：政策部政策課

・部会：必要に応じて設置・検討

・関係者：必要な説明・意見を聴取

- (3) **会長及び副会長** 会長は、委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。

- (4) **委員の任期** 2年 ※委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

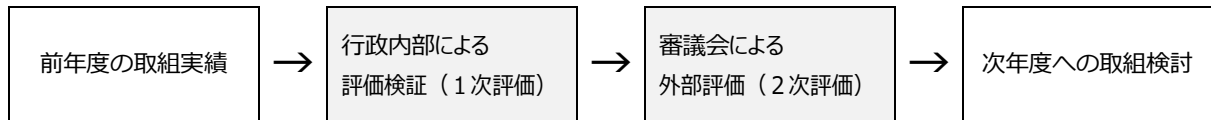
- (5) **その他** その他運営に関し必要な事項は、「加西市総合政策審議会運営要綱」による。

3 令和8年度 総合政策審議会のスケジュール（予定）

●第1回 加西市総合政策審議会（全体会） 日時：令和8年6月30日（火）10時～ 場所：加西市役所 会議室	・概要説明、スケジュール・進め方の確認 ・実施計画（令和7年度実績）における内部評価の概要報告
●第2回 加西市総合政策審議会（部会） 日時：令和8年7月27日（月）10時～ 場所：加西市民会館	・実施計画（令和7年度実績・総括）の評価・検証①
●第3回 加西市総合政策審議会（部会） 日時：令和8年8月26日（水）14時～ 場所：加西市民会館	・実施計画（令和7年度実績・総括）の評価・検証②
●第4回 加西市総合政策審議会（全体会・部会） 日時：令和8年10月7日（水）14時～ 場所：加西市役所 会議室	・各部会からの評価・検証結果の報告・協議 ・行財政改革プランにおける報告

実施計画（令和 7 年度実績）における評価・検証について

加西市総合計画の着実な推進にあたり、事業の実施状況について、行政内部による評価検証（1 次評価）を行い、その内容について審議会による外部評価（2 次評価）を行うことによって、透明性を確保する。



1 部会の設置

外部評価（2 次評価）は、1 部会 4～5 名体制で 3 つの部会を編成し、38 施策を分担して評価検証を行う。また、部会には部会長を置き、部会の進行管理を行うものとする。

部会数	1 部会あたりの対象政策	1 部会あたりのメンバー		
		担当委員 ※審議会委員	説明員 ※市職員	事務局 ※市職員
3	4～5	4～5 名（うち部会長 1 名）	市担当部長・課長（複数名）	政策課（複数名）

2 外部評価（2 次評価）の進め方

(1) 第 2・3 回 加西市総合政策審議会

各部会に分かれ、市民の視点から各施策について「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1 次評価）の総合評価（4 段階評価）と同様の基準で評価する。所属部会以外への意見は提言書により行うことが可能。なお、評価の目安として、目標を達成するための指標の評価基準を下記のとおりとする。

総合評価基準		基準の説明
A	目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている（目安 106%～）
B	目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている（目安 95%～105%）
C	目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない（目安 80%～94%）
D	目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない（目安～79%）

(2) 第 4 回 加西市総合政策審議会

事前に事務局が取りまとめた部会での意見をもとに各部会長から総括及び検討を行う。

外部評価（2 次評価）で「C 評価」以下の施策については、市担当部署で課題分析のうえ、今後の対応について報告する。

3 外部評価（2 次評価）後の対応

- 審議会意見を市担当部署へフィードバックの上、次年度の取組について改善検討を行う。
- 行財政改革プラン（総合計画 実施計画）へ外部評価（2 次評価）の結果を掲載し、市ホームページ等で公表する。

行政内部による評価検証（1次評価）の概要
（令和7年度 取組実績）

総合計画の前期基本計画に掲げられた13政策の取り組みは、全部で38施策（112事業・194指標）あります。

各施策の評価・検証については、令和7年度の目標を達成するための指標【KPI】のほか、KPIでは測れない取組実績【施策目標への寄与】等にも考慮しながら取組事業ごとの評価を行いました。評価は「A（目標を上回って達成、106%以上）」、「B（ほぼ目標を達成、95%～105%）」、「C（目標を下回っている、80%～94%）」、「D（目標を大きく下回っている、79%以下）」の4段階で判定したうえで、施策全体（38施策）の総合評価を同様の4段階で区分しました。

施策全体での1次評価は、A評価が5施策、B評価が28施策、C評価が5施策となっております。

政 策	A	B	C	D
1 新しい家族と出会い、 育むための支援の充実		2	1	
2 子どもの教育の充実	1	2		
3 生涯にわたって学び、 楽しめる環境づくり		2	1	
4 くらしを支える 福祉・医療の充実		3		
5 農業の再生と活性化	1	2		
6 商工業の振興と新展開		3		
7 地域資源の活用と 人の流れの創出		2	1	
8 安全・安心に暮らせる 環境の充実		3		
9 快適な都市空間の創出		2		
10 安全性と利便性が確保された 都市基盤の整備	1	1	1	
11 協創のまちづくりの推進		2	1	
12 お互いを認め、 尊重し合える社会の実現	1	2		
13 効率的で持続可能な 行財政の推進	1	2		
合 計	5	28	5	0

※今後、精査の結果、数値が異動する場合があります。

令和 7 年度の主な取組概要（基本方針単位での内部評価まとめ）

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ（政策 1～4）

- ・保育料、給食費、医療費の無料化などの「子育て応援 5 つの無料化」を継続実施した。
- ・専門スタッフによる発達特性把握と事後フォローを行う「5 歳児健診」を新設したほか、疾病や異常の早期発見および、切れ目のない保健指導に繋げるための「1 か月児健診費用の助成」を新たに開始した。
- ・市内の小学 5・6 年生を対象に、校外学習の一環として「大阪・関西万博見学」を行った。
- ・令和 8 年 4 月開校の「泉統合小学校」の校舎改修やバスロータリー整備を実施し、令和 10 年 4 月開校予定の「善防統合小学校」「加西中央統合中学校」の開校に向けた実施設計等に着手した。
- ・低所得世帯の子どもや不登校・ひきこもりの子どもの居場所づくりとして、これまで「子どもの学習支援事業」を実施してきたが、令和 7 年度はさらなる充実を図るため専門事業者へ委託のうえ実施した。

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む（政策 5～7）

- ・ベリーA を改良した後継品種「BK シードレス」の市場出荷に向けて、JA 兵庫みらいと共同で苗木全額補助を開始した。また、加西ブランド協議会において新たに SNS による加西市の農産物の情報発信を開始した。
- ・地域通貨「ねっぴ〜Pay」において、ポイント還元や抽選企画などの消費喚起策を継続実施した。
- ・加西インター産業団地の整備・企業誘致の進捗として、1-1 工区で新たに 1 社が建築を開始したほか、2 工区で 3 社に引渡を完了し、4 工区で 3 社が操業を開始した。
- ・「かさいスマートエナジー」が設置する太陽光発電(3 か所)の整備支援を実施した【温室効果ガス額排出量：382 千 t-co₂ (4.7%増)、太陽光発電量が 132,012kw (0.6%増)、ごみ排出量 799g/1 日・1 人 (1.1%減)】。

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる（政策 8～10）

- ・ハザードマップをはじめ災害時要支援者名簿、災害用備蓄品の更新により防災体制の強化を図った。また、高齢者向けの「自動録音機能付電話機等購入補助事業」を新たに実施した。
- ・令和 8 年 4 月の都市計画における線引き廃止の手続きを進めると同時に、食品スーパーやドラッグストアなどが立地できる「地域拠点形成地区」を各小学校区に設定した。
- ・市川町からの受水を令和 7 年度末で終了し、安価な県水へ全面的な切り替えを行った。
- ・老朽化が進む市道の補修を順次実施するとともに、自治会が管理する生活道路へ補助を行い、道路環境の改善を図った。また、市道上宮木玉野線や新病院アクセス道路の新設改良に向けて調査等を実施した。
- ・北条鉄道において、令和 8 年 4 月からの ICOCA 利用開始に向けたシステム整備を行った【鉄道輸送人員：38 万 7 千人 (1.3%減)】。また、公共交通の認知向上を図るため「地域公共交通シンポジウム」を開催した。

基本方針 4 ともに活躍しまちの魅力を高める（政策 11～13）

- ・「sora かさい」においては、戦後 80 年の年に合わせて平和学習デジタルコンテンツの更新や自主事業の拡充を行った【来館者数：16 万人 (22%増)】。
- ・外国人住民と日本人住民が共に安心して暮らせる多文化共生の地域社会づくりを目指す交流拠点として、令和 7 年 9 月に「加西市グローバルセンター」を開設した【市内在住外国人：1,872 人 (11.8%増)】。
- ・ふるさと納税について、同種の返礼品で容量や個数のバリエーションを増やしたほか、既存商品のカラーバリエーションを拡充するなど、返礼品の選択肢の幅を広げた【受入額：48 億円 (13%減)】。
- ・イオン株式会社（クーリングシェルトー設置等）、明治安田生命保険相互会社（スポーツ・健康増進等）、伊東電機株式会社（農産業分野の課題解決等）の 3 社と新たに包括連携協定を締結した。

加西市地域創生戦略の状況

地域創生戦略は、国のまち・ひと・しごと創生戦略に基づき、市が定める計画であり、直面する人口減少と地域の活性化に向けた計画です。

加西市地域創生戦略では、以下の4つの基本目標を定め、総合計画のうち人口ビジョンに関する指標を KPI として設定し、地域創生に取り組んでいます。

【基本目標①】生産性の向上

成果指標	基準値 (H30)	数値目標 (R7)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
若者の残存定住率	78%	80%	83%	80%	81%
市内事業所従業員 市内定住率	38%	50%	46%	42%	41%
製造品出荷額	2,586 億円	3,900 億円	—	—	—

(参考指標)

成果指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
若者の残存定住率 (日本人のみ)	64.6%	66.3%	67.6%	64.5%	62.9%
市内生産額(第2次 産業)	1,279 億円 (R元)	1,209 億円 (R2)	1,343 億円 (R3)	1,179 億円 (R4)	1,207 億円 (R5)

▶若者の残存定住率＝16-18歳の10年後(26-28歳)の定住率

▶市内生産額＝市町民経済計算(市内総生産)より

【基本目標②】住みよさの創出

成果指標	基準値	数値目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
観光入込客数	92.1 万人	110 万人	116.2 万人	113.6 万人	115.8 万人
移住斡旋数	83 件	200 件	261 件	279 件	241 件
マスメディアの登 場回数	186 回 (R元)	200 回	195 回	202 回	208 回

(参考指標)

成果指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会増減 (うち、日本人)	-296 人 (-101)	48 人 (-166)	139 人 (-46)	-120 人 (-208)	-109 人 (-292)

【基本目標③】 少子化の抑制

成果指標	基準値 (H30)	数値目標 (R7)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
未婚率（女性25～34歳）	50.2% (H27国勢調査)	46.6%	—	—	—
合計特殊出生率	1.28	1.83	1.12	1.05	1.16
幼保児童数	1,332人	1,400人	1,240人	1,196人	1,038人

（参考指標）

成果指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
20-39歳女性の社会増減（うち日本人）	-180人 (-78)	-59人 (-112)	17人 (-61)	-124人 (-110)	-67人 (-97)
20-39歳女性の人口（うち日本人）	3,768人 (3,426)	3,713人 (3,299)	3,712人 (3,201)	3,537人 (3,028)	3,465人 (2,914)
就学前児童数	1,817人	1,729人	1,643人	1,587人	1,314人
幼保施設利用割合	72.9%	75.0%	75.5%	75.4%	79.0%

▶社会増減は年度中の社会増減、人口は年度末人口としている

【基本目標④】 暮らしの充実

成果指標	基準値	数値目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度
要介護認定率	19.8%	21.2%	19.2%	19.4%	19.6%
防災訓練・研修回数	75回	75回	72回	69回	76回
コミュニティバス系統数	9系統	10系統	10系統	10系統	10系統

（参考指標）

成果指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
コミュニティバス等利用者数	26,456人	28,455人	30,879人	30,506人	32,743人

▶要介護認定率は、認定制度が周知されている前提では減少指標である

▶コミバス等＝コミバスと地域主体型交通の利用者数

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）事業報告

1 空がっく・ヒト・コト・モノ交流推進プロジェクト

広域連携事業：兵庫県加西市（代表市）、兵庫県姫路市、熊本県錦町、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市

（単位：千円）

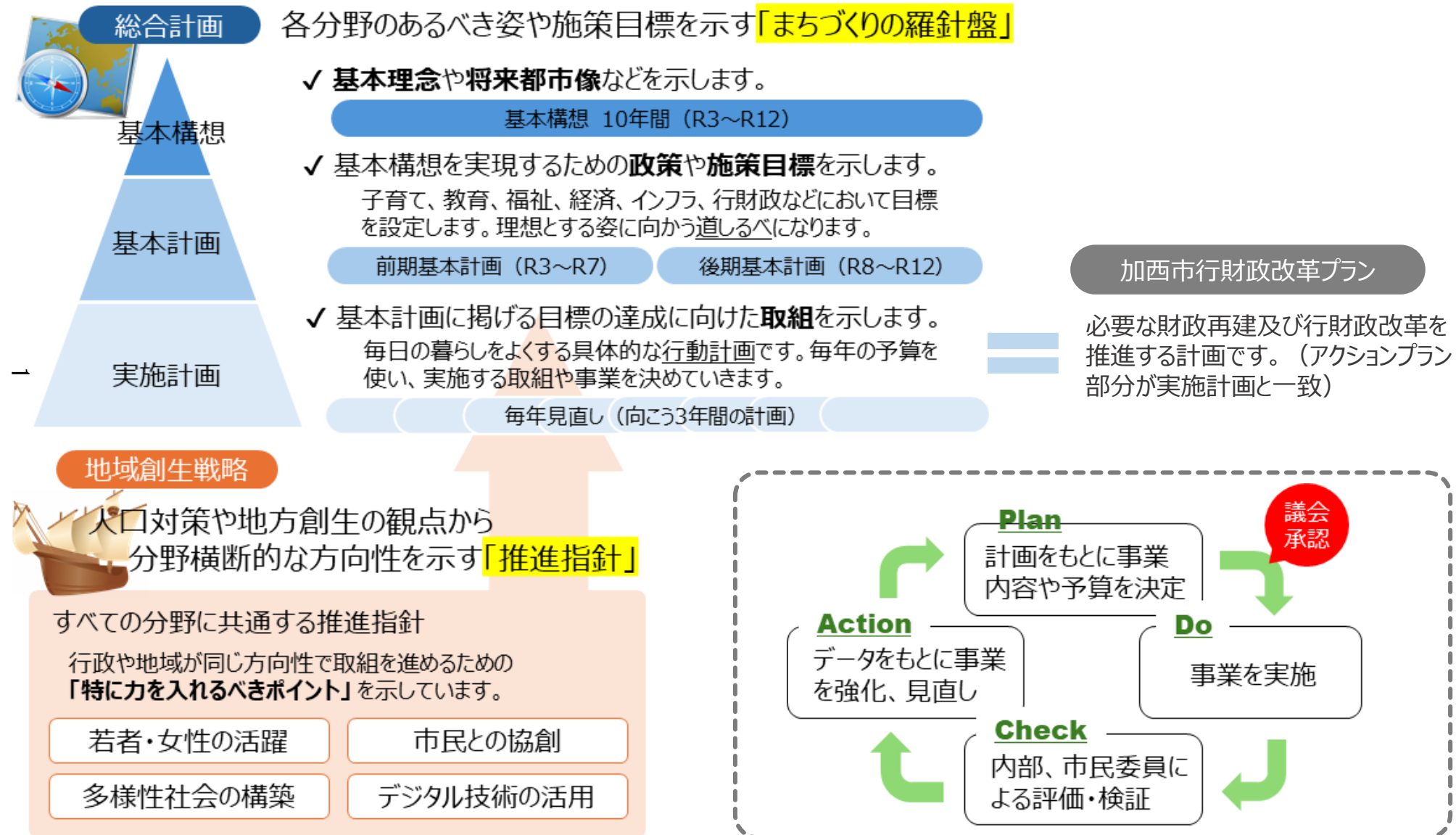
事業名称	事業経費内訳		事業内容と支出額、委託先等
ヒトの交流	平和普及推進事業	500	空がっくまち・ひとづくり協議会負担金
コトの交流	鶴野飛行場回遊動向分析事業	5,999	鶴野飛行場跡地に関する来訪者の属性や回遊動向の可視化 効果的なプロモーションの検討、実施、効果検証
	鶴野飛行場跡活用促進支援事業	1,000	鶴野飛行場跡及び周辺地域を活用した活性化イベントへの助成
	観光誘客促進事業	5,000	旅行エージェント向けプロモーション、ファミトリップの実施
	観光産業支援事業	9,800	観光協会関連事業（観光ガイド養成、ツアー造成支援、レンタサイクル事業） カサイチサイクルツーリズム、観光研究会、ハッピーバルーンクリスマス、劇場型周遊観光の実施
	マイクロツーリズム推進事業	9,081	おでかけナビ作成、総合HP構築、バスラッピング、新型モビリティ試験導入
	戦後80年プレ事業	500	
	神大連携戦争遺産資料拡充調査事業	1,200	神戸大学との地域連携による鶴野飛行場跡や青野ヶ原俘虜収容所の調査研究 調査を通じた展示会や報告講演会等の開催
モノの交流	地域資源分析活用推進事業	7,997	5市町連携による農産物や加工品、生産者等の実態調査、加工品開発、JA、道の駅等での 相互販売、ふるさと納税の共通返礼品の開発等 地域が「稼ぐ」仕組みづくりの構築
総 合 計		41,077	

交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）

KPI		事業開始前	区分		R5	R6	R7		単位
①	観光ガイドによる平和関連施設案内者数	13,120	増加目標		15,120	18,120	22,120		人
			増減実績		13,906	13,167	11,341		
②	児童生徒の相互平和学習・交流による参加校数	1	増加目標		3	6	10		校
			増減実績		1	7	1		
③	ふるさと納税のうち農畜水産物返礼品に対する寄付金額	0	増加目標		0	5,000	10,000		千円
			増減実績		0	0	0		

參考資料

加西市総合計画の概要





担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実

【1】政策の目標を確認してください。ここに記載された目標を達成するために、各施策が実行されています。

未来の加西の姿

家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
① (ア～エ)	【2】「未来の加西の姿」を達成するために必要となる施策（①,②,③・・・）が複数あり、施策目標達成のために必要となる個別事業（ア,イ,ウ・・・）が複数あります。ここでは、複数の個別事業からなる施策に対する評価を実施していただきます。	■ 出逢いサポートセンター事業 ・今の時代にあった情報システムサービスをさらに活用する方法など、出逢いをサポートする新たな試みをお願いする。 ■ 電子母子手帳の導入 ・将来子どもが大人になっても紙の時のように接種記録が読めるのか懸念される。電子化によるメリットを活かすための双方向機能の検討されており、利便性向上などの効果に期待する。 ■ 医学生向け奨学金制度の創設 ・産婦人科医のニーズは間違いなくあり、医師確保は課題である。奨学金制度は加西病院の将来を見据えた取組みとして評価する。 総合評価 C…目標をやや下回って達成
② (ア～エ)	■ 子育て世帯への負担軽減 昨年度に引き続き「子育て応援5つの無料化」を継続実施。泉学童保育の新しい新園舎が7月に完成、定員が30名から70名へと増加し学童保育の受入れ体制の強化を図った。 ■ 養育費確保支援施策を導入 ひとり親の養育費確保を支援するため、公正証書作成費用の助成を開始し、8件支給した。 ■ 子育て応援プロモーション 「子育て応援5つの無料化」を切り口としたWeb広告を展開し、加西市の認知拡大・魅力発信ができた。小学校入学前の未就学児の人口も増加しており若年層の社会増の兆候も見受けられる。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	■ 子育て世帯への負担軽減 ・学童保育の受入にかかる空き状況は地域差があり、小学校再編後は統合先の学校で拡充が必要である。6年生までの受入れが可能であるようなら、働いている親に積極的にPRをお願いする。 ・子育てへの経済的支援は充実してきているが、下水道補助の実績からは多子世帯の減少が伺える。安心して3人目が生まれるような環境にしていくには、まだまだ課題がある。 ■ 子育て応援プロモーション ・若い人たちのSNSによるPRは、近隣団体の動向も見ながら、さらに努力を継続すべきである。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
③ (ア～ウ)	【3】政策に対するKPIとして、前期目標（R7）が設定されています。KPIの達成度については、令和7年度目標に対する令和7年度実績により算出しています。	■ 未来型児童館整備計画の凍結 もの整備は維持管理費も考え慎重にすべきで、未来型児童館の中止はやむを得ないが、元々予定していた機能については充実を望む。 ■ 保育受入体制の整備 立と私立の特徴は良くわかるので、それぞれを活かした相互補完できる運営となう願う。 ■ プラスの運営 の日など遊び場はよく利用されているが、テレワークセンターの利用の方は少ないので工夫を望む。 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
合計特殊出生率	目標		—	—	—	—	1.83	人	単年
	実績	1.28	0.91	1.11	1.12	1.05	1.05		
	達成度		50%	61%	61%	57%	57%		
※15～49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの									
	目標								
	実績								
	達成度								

【評価のポイント】

- ・ 政策評価では、施策評価シートの該当ページと照らし合わせ、複数の取組を総合的に評価します。

【評価のポイント】

・ 政策評価では、施策評価シートの該当ページと照らし合わせ、複数の取組を総合的に評価します。

・ 判断が難しい場合は、政策目標（未来の加西の姿）達成にとってより重要であると考えられる施策の評価を重視してください。

※サンプルにつき、令和7年度の内容とは異なります。

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援								
政策	1 新しい家族の誕生を支援								
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 多世代が関わる地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。								
担当部課	<table border="1"> <tr> <th>部名</th> <th>教育委員会</th> <th>課名</th> <th>こども未来課</th> </tr> <tr> <td></td> <td>政策部</td> <td></td> <td>政策課</td> </tr> </table>	部名	教育委員会	課名	こども未来課		政策部		政策課
部名	教育委員会	課名	こども未来課						
	政策部		政策課						
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業 経費(千円) 取組実績と今後の課題								
R3	子育てハンドブックの作成	350	【評価のポイント】 ・ 取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。 ・ 行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。						
	給食費補助金	43,892							
	学童保育運営事業	101,187							
	合計	145,429							
R4	子育てハンドブックの作成	218	【評価のポイント】 ・ 取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。 ・ 行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。						
	給食費補助金	52,959							
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)	36,960							
	学童保育運営事業	100,554							
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化	59,831							
	保育士や学童支援員の処遇改善事業	2,868							
	合計	253,390							
R5	子育てハンドブックの作成	2,365	【評価のポイント】 ・ 取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。 ・ 行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。						
	給食費補助金	62,721							
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)	69,059							
	学童保育運営事業	449							
	合計	74,594							
R6	子育てハンドブックの作成	2,365	【評価のポイント】 ・ 取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。 ・ 行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。						
	給食費補助金	62,721							
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)	69,059							
	学童保育運営事業	449							
	合計	74,594							
R7	子育てハンドブックの作成	350	【評価のポイント】 ・ 取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。 ・ 行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。						
	給食費補助金	58,512							
	学童保育運営事業	169,011							
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化	117,176							
	合計	346,673							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	担当課による自己評価	目安	
加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリ登録者数	目標		1,000	1,100	1,200	1,300	担当課による自己評価 A…目標を上回って達成 B…ほぼ目標を達成 C…目標を下回っている D…目標を大きく下回っている	目安 106%～ 95～105% 80～94% 79%以下	
	実績	942	2,313	1,018	1,162	1,290			
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-11	達成度	231.3%	92.5%	96.8%	99.2%			
上記指標の設定理由	アプリを通じて子育て世帯へ必要な情報を発信し、育児不安等の解消を図るため。								
学童保育	450	人	単年						
第2期	422	人	単年						
	93.8%								
ファミリーサポートセンター協会員数	目標		65	65	65	65	65	人	累計
	実績	65	70	56	53	49	45		
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-17	達成度	107.7%	86.2%	81.5%	75.4%	69.2%		
上記指標の設定理由	協会員数は、地域で子育てをサポートするといった意識の表れでもあるため。								

令和 8 年度 総合政策審議会 部会分け（案）

政策	施策	関連する団体
政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実	①結婚・妊娠・出産支援の充実 ②地域ぐるみの子育て支援の推進 ③子育て環境の充実	●公立こども園 P T A
政策 2 子どもの教育の充実	④教育の質の向上 ⑤教育環境の充実 ⑥地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実	●加西市連合 P T A
政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり	⑦生涯学習の充実 ⑧芸術・スポーツの振興 ⑨健康増進の推進	●加西市スポーツ推進委員会
政策 4 くらしを支える福祉・医療の充実	⑩高齢者福祉の推進 ⑪障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫保健・医療体制の確保	●加西市シニアクラブ連合会
政策 5 農業の再生と活性化	⑬農業従事者の確保と育成 ⑭農業経営の支援 ⑮農業環境の充実	●加西市農村女性組織連絡協議会
政策 6 商工業の振興と新展開	⑯商工業の振興 ⑰創業支援と働く場の拡大 ⑱雇用・勤労者福祉の充実	●加西商工会議所 ●北条金融協会 ●加西市労働者福祉協議会
政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出	⑲歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑳移住・定住の支援 ㉑空き家・空き店舗の利活用	●加西空き家相談室
政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実	㉒防災・感染症対策の充実 ㉓防犯・交通安全の向上 ㉔市民相談・消費者保護の充実	●加西市区長会
政策 9 快適な都市空間の創出	㉕住環境の整備 ㉖地球に優しい環境都市の創造	●加西市くらしと生活を守る会
政策 10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備	㉗道路・河川の整備・維持管理 ㉘上下水道の整備・維持管理 ㉙公共交通の充実	●加西市区長会
政策 11 協創のまちづくりの推進	㉚協創のまちづくり ㉛シティプロモーションの推進 ㉜広報・広聴の充実	●加西商工会議所青年部
政策 12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現	㉝自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ㉞男女共同参画の推進 ㉟多文化共生と平和のまちの実現	●NPO 法人国際交流協会
政策 13 効率的で持続可能な行財政の推進	㊱行財政運営の効率化 ㊲ICT の利活用の推進 ㊳広域連携と公民連携の推進	●加西商工会議所 ●北条金融協会



部会 1	部会 2	部会 3
●公立こども園 PTA ●加西市連合 PTA ●加西市スポーツ推進委員会 ●NPO 法人加西市国際交流協会 ●（学識経験者）	●加西市農村女性組織連絡協議会 ●加西商工会議所 ●北条金融協会 ●加西市労働者福祉協議会 ●加西空き家相談室	●加西市区長会 ●加西商工会議所青年部 ●加西市くらしと生活を守る会 ●加西市シニアクラブ連合会

※赤四角で囲っている箇所は令和 8 年度からの変更箇所です。

加西市総合政策審議会条例

(設置)

第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の求めに応じ、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する次の事項について、調査及び審議する。

- (1) 総合計画の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
- (2) 地域創生戦略の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
- (3) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 各種団体を代表する者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(任期等)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないものとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、必要に応じて市長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画担当部において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

○加西市総合政策審議会規則

令和 2 年加西市規則第 19 号

加西市総合政策審議会規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、加西市総合政策審議会条例（令和 2 年加西市条例第 2 号）第 8 条の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）の会議その他運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(部会の設置)

第 2 条 審議会に、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会に属する委員は、審議会の委員をもって充てる。

(部会長)

第 3 条 部会に部会長を置き、委員の互選によって定める。

2 部会長は、部会を総括する。部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

3 部会長は、部会の所掌事項に関する審議の結果を審議会に報告しなければならない。

(意見の聴取)

第 4 条 審議会は、関係者の意見を聴取する必要があると認めるときは、当該関係者の出席を求めることができる。

(補則)

第 5 条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、審議会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

○加西市総合政策審議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、加西市総合政策審議会規則（令和2年加西市規則第19号）第5条の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）の会議の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(議事の表決)

第2条 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。

(会議の公開)

第3条 会議は、原則として公開するものとする。ただし、会長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めたときは、非公開とすることができる。

(傍聴の手続)

第4条 会議の傍聴を希望する者は、傍聴希望者受付名簿に必要事項を記入しなければならない。

(傍聴人の遵守事項)

第5条 傍聴人の守るべき事項については、加西市議会規則（平成元年議会規則第2号）の例に準拠するものとする。

(会議録の作成について)

第6条 会議録は、要点筆記とする。

(会議録等の公開について)

第7条 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（会長及び副会長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。

2 会議録と併せて、会議資料を公開する。

3 委員名簿は、市のホームページで公開する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和2年7月2日から施行する。